

事業所名 うさぎクラブ Next 支援プログラム 作成日 2026 年 7 月 1 日

法人（事業所）理念		難聴児がその人らしく社会で活躍する日まで一貫した居場所を提供します											
支援方針		「きこえ」を活用し、言語力、コミュニケーション力を育てることを目標にします。 難聴を含めた個人の特性を生かし、周囲と共存して社会で活躍する方法を考えます。											
営業時間		平日 土曜	11 09	時	00 00	分から	18 17	時	00 00	分まで	送迎実施の有無	あり	なし
		支 援 内 容											
本人支援	健康・生活	①生活リズムの形成、②日常生活スキルの獲得、③生活スキルの向上・自立に取り組みます。 活動の中で到達度を把握すると共に、保護者から生活の様子を聞き取り助言を行った上で、療育の中で身の回りのことがらについての自立に向けて段階的に取り組みます。											
	運動・感覚	①姿勢制御の安定、②運動、動作の獲得の促進、③聴覚とその他の感覚の統合の促進を段階に合わせて行います。到達度を評価の上、楽しい活動の中で自発的な動きを誘導し、基本的姿勢から日常動作へと至るプロセスを段階的に踏んでいきます。											
	認知・行動	きこえや補聴状態を確認した上で、きく、見る、触る等の感覚を活用した活動に誘導し、知覚を統合してよくわかり、楽しむ経験が積み重なるようにします。そのことを通じ、環境の認知や適応行動に働きかけます。											
	言語 コミュニケーション	聴覚を活用した言語・コミュニケーションの発達を促します。補聴状態や活動の中での聞き取り状況を専門職が確認し、人との関わりのなかでことばの獲得が進むよう、発達に即したプログラムを積み重ねます。発音指導等で音声によるコミュニケーションに自信が持てるようにします。きこえを活用したことばの発達の進展のために日常生活の中で適切な刺激が受けられるよう環境調整を行います。											
	人間関係 社会性	相手の存在を意識し働きかけへの注目を維持することを通じて、きこえを活用した人との関わりの経験を積み重ねるとともに、やりとりできる相手の拡大をはかります。同年齢グループ活動、異年齢交流プログラムのなかで場面の状況と自分の気持ちを認識し調整し、仲間と協同する経験が積み重なるようにします。											
家族支援		・保護者から生活場面での様子を確認のうえ、障害理解を深める取り組みについて具体的に話し合います。 ・保護者講座・交流、きょうだい支援を実施します						移行支援		・就学前施設との情報共有と連携を行います ・学校と情報の交換をします ・進路の相談を行います			
地域支援・地域連携		・地域の連絡会へ参加しています ・関係機関との事例検討会を実施しています						職員の質の向上		・事例検討会を定期的（週1回）に開催しています ・事業所内で職員研修を実施しています ・外部研修、学術集会への参加の機会を設けています			
主な行事等		・季節の行事を行います ・異年齢交流、保護者交流を行います ・テーマ別行事（セルフ・アドボカシー、補聴機器の最新情報、体験談の講演）を行います											